



写真提供：天津義久さん（大田市）

イベント情報

◆三瓶山山開き

とき 平成18年4月23日(日) 午前11時より
 ところ 三瓶山山頂 (雨天時：西の原)

◆やきもの祭り

とき 平成18年4月29日(土)・30日(日)
 ※両日とも午前9時より
 ところ やきものの里 (温泉津町温泉津)

◆高野寺のつつじ祭り

とき 平成18年5月5日(金・祝) 午前10時より
 ところ 高野寺(温泉津町井田)

◆石見ライド IWAMI RIDE 01

とき 平成18年5月13日(土)・14日(日)
 ※13日は午前8時30分より、14日は午前8時より
 コース しまね海洋館アクアス～大田自転車競技場

ふるさとは今

宅野子ども神楽 (市指定民俗無形文化財)

宅野子ども神楽は、囃子から舞まで全て子どもたちが行う神楽として、大田市仁摩町宅野地区に伝えられています。

現在、地区内の小中学生48名(中学生13名、小学生35名)と地区外の9名を含めた57名で構成し、石見神楽の中でも素朴な舞を特徴としています。

主な活動としては、毎年、正月三が日の獅子舞で地区の各戸を廻り、夜は仁摩伝統芸能伝承館で神楽を舞います。また、2月11日には地域の皆さんに神楽を披露する『神楽発表会』を行っています。その他にも町内外からの依頼による上演を行っています。

◆表紙 川合小学校

川合小学校は、「自ら学ぶ意欲をもち、心豊かで明るく、たくましい川合っ子の育成」を教育目標に掲げ、明治6年4月の学校創設以来、133年の歴史ある小学校です。新校舎は、昭和63年2月に改築され、現在101名の“川合っ子”が学業に励んでいます。

取材に伺った2月1日は、国立三瓶青年の家において小学4年生から6年生の45人を対象に『歩くスキー教室』が行われていました。

みぞれ交じりのあいにくの天候でしたが、子どもたちは履き慣れないスキー靴に板を履き、先生から歩き方や転び方の指導を受けた後、三瓶山北の原『歩くスキーコース』に元気よく飛び出していきました。



編集 後記

今冬は、平野部でも何年かぶりの大雪だった。子どもの頃、家の周りの坂を竹スキーで滑った。1メートルほどに切った竹を割り、端から20センチのところに鋸を入れ、火であぶって曲げる手づくりスキー。親に手伝ってもらって作ったことを思い出す。雪を集めて固めた小さなジャンプ台で雪まみれになって遊んだ。

現在はどうだろう。我が子に遊び道具を作ってやることもない。こたつでゲームの画面を見つめる子どもの後姿を見てふと思う。大人として子どもたちに何を伝えてやれるのだろうか。

先日、『しまね子ども神楽フェスティバル』が島根県芸術文化センター『グラントワ』(益田市)で開催された。それぞれ地域の伝統芸能が世代を超えて子どもたちに受け継がれている。地域の大人たちとのつながりの中で、子どもたちもいきいきといた。

遊びでも何でもいい、私たちの住んでいる地域の財産の一つでも多くの子どもたちに伝えていきたい。(H)